

平成 2 5 年度

行政評価の取り組みについて

平成 2 5 年 7 月
南丹市企画調整課

1. 平成24年度の取り組みについて

- 行政評価の活用促進のため、評価結果情報を可視化
- 評価結果の進行管理と予算につなげるプロセスの定着
- 脆弱な推進体制と評価結果に対する意思決定機能の強化
- 事業の整理・統合・削減の判断
- 成果志向による行政経営

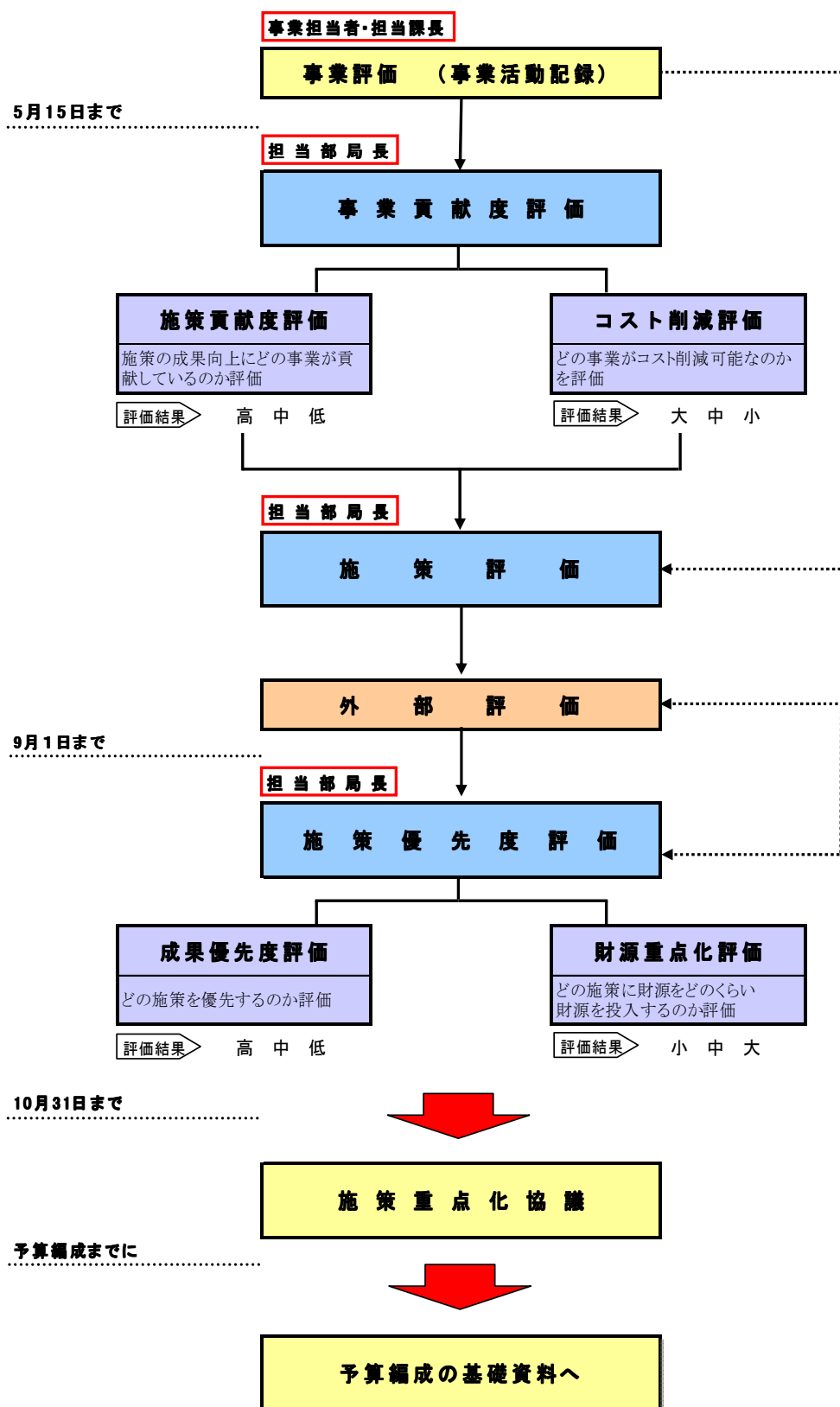
2. 平成24年度の課題について

- 評価の目的や意図に対する職員の理解不足
- 評価結果の検証と予算につなげる仕組みづくりが不十分
- 事業の整理・統合・削減が不十分

3. 平成25年度の行政評価の取り組みについて

- 事業の整理・統合・削減が促進される体制の構築
- 評価結果の検証と予算への反映
- 評価の目的や意図に対する職員の理解を深め資質の向上
- 次年度の行政評価に向けたステップアップ

4. 平成25年度行政評価の流れについて



5. 事業貢献度評価

○ 評価の方法

全部局長がグループに分かれて協議により3段階で評価

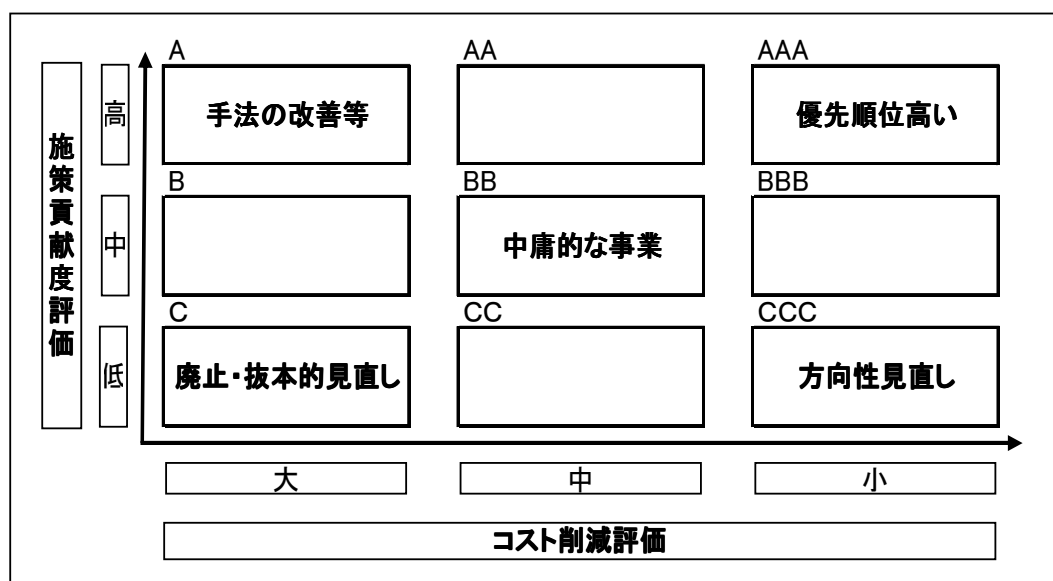
○ 施策貢献度評価

事業の成果が、施策の目標達成にどの程度貢献したか。

○ コスト削減評価

費用対効果の評価を基本に、各事業のコスト削減余地を評価

事業貢献度評価（L型マトリックス図）



6. 施策評価

- 評価の方法

主管部局長が、様々な資料をもとに評価

- 目標達成度評価

目標値が未達成の場合はなぜか、目標達成のために施策の考え方をどうしていくのか。

- 次年度方向性評価

目標達成度評価を基に今後の方向性をどうするのか。

7. 施策優先度評価

○ 評価の方法

部局長全員が、様々な評価情報をもとに3段階で評価

○ 成果優先度評価

成果からみて施策の中でどれを優先するのか

○ 財源重点化評価

どの施策に財源をどれぐらい投入するのか。

施策優先度評価（L型マトリックス図）

